

マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果

- 参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
2) マダニ媒介SFTSとは
3) マダニの生活環



KANA S. Illustrations
衛生昆虫写真館 Photos

マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所昆虫医科学部
Tel: 03-5285-1111 (代表)
Fax: 03-5285-1178
e-mail: info@nih.go.jp

SFTS対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所
Tel: 03-5285-1111 (代表)
厚生労働省健康局結核感染症課
Tel: 03-5253-1111 (代表)

1. マダニの生息場所



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



2. マダニから身を守る服装

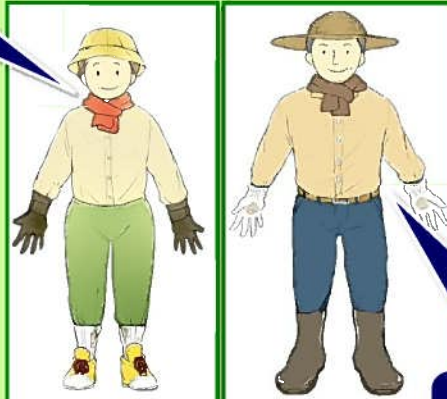
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

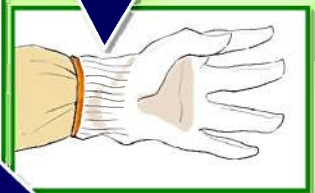


半ズボンやサンダル履きは不適當です！

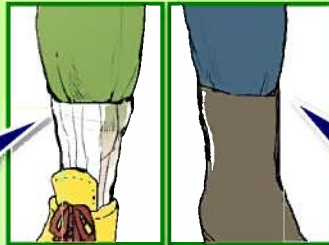
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。



屋外活動後は、シャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックしましょう。



ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

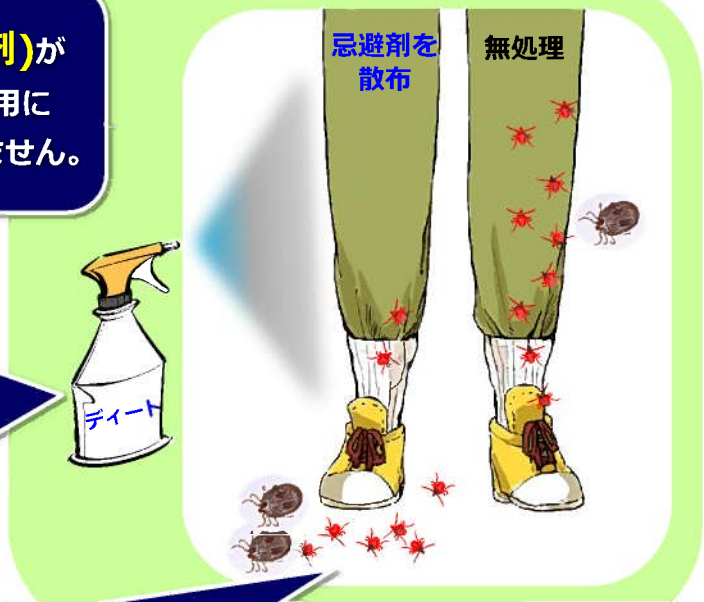
マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

海外ではマダニ対策に**忌避剤(虫よけ剤)**が使用されていますが、日本には、マダニ用に市販されている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツガムシ(ダニ目ツツガムシ科)を忌避する用途で、衣服に塗布して使用する忌避剤(医薬品)が複数市販されています。

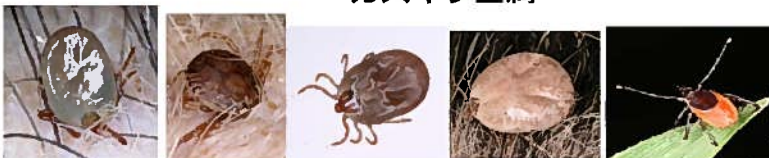
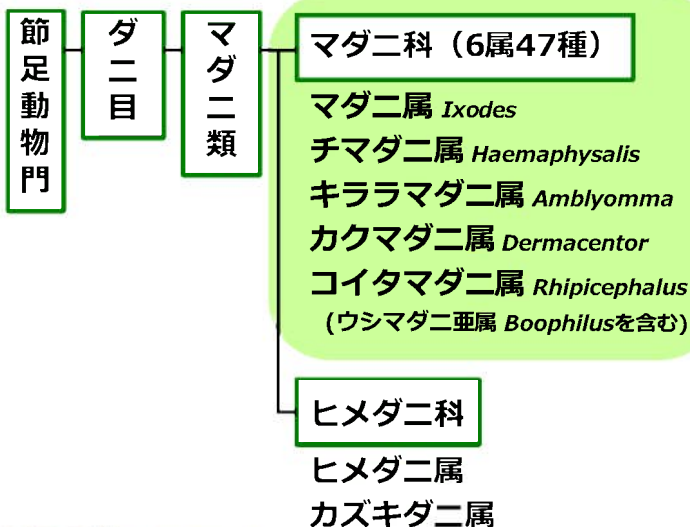
このような忌避剤を使用し、**マダニに対して一定の忌避効果が得られる**ことが確認されました。



ディート(忌避剤)の使用でマダニ付着数は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

マダニは、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。



マダニが媒介する感染症

()内は病原体の種類

- 日本紅斑熱 (リケッチア)
- Q熱 (リケッチア)
- ライム病 (スピロヘータ)
- ボレリア症 (細菌)
- 野兔病 (細菌)

- 重症熱性血小板減少症候群 SFTS**
(フレボウイルス)
- ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)
 - キャサヌル森林病 (フラビウイルス)
 - クリミア・コンゴ出血熱 (ナイロウイルス)

.....など

参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

重症熱性血小板減少症候群 (Sever fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

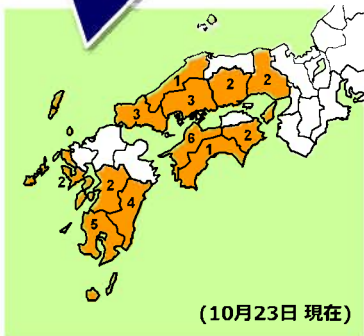
これまでに、中国・日本・韓国でSFTSの患者が報告されています。中国ではフタゲチマダニとオウシマダニからウイルスが見つっています。



ウイルスの潜伏期間は（マダニに咬まれてから）6日～2週間とされています。

2013年は、西日本の12県でSFTS患者が報告されています。

()内は発症数



SFTS患者報告基本情報

| | | |
|----|-----|-----|
| 合計 | | 33名 |
| 性別 | 男 | 12 |
| | 女 | 21 |
| 年齢 | 中央値 | 73歳 |
| | 40代 | 1 |
| | 50代 | 4 |
| | 60代 | 6 |
| | 70代 | 9 |
| | 80代 | 10 |
| | 90代 | 3 |

(10月23日 現在)

2013年1月1日以降に報告された患者（合計33名）は40代以上でした。

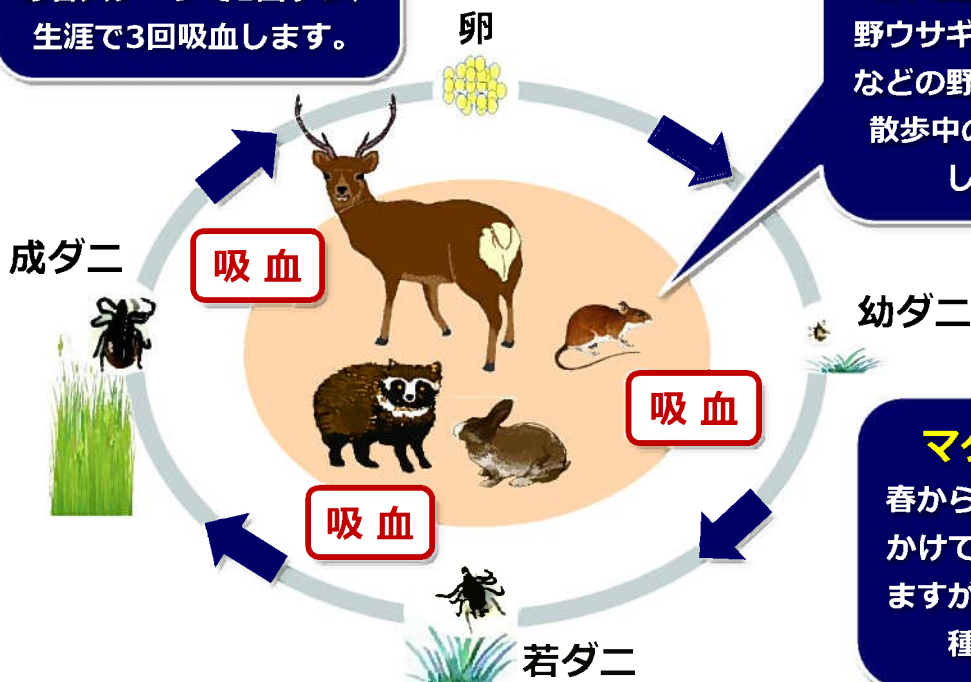
2013年のSFTS患者は5月に多く発症しています。



資料は、国立感染症研究所ホームページ：
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/3143-sfts.html>を引用

参考資料 3) マダニの生活環

マダニは、幼ダニ、若ダニ、成ダニの各ステージで1回ずつ、生涯で3回吸血します。



マダニは、ヒト以外に、野ネズミ、野ウサギ、シカ、イノシシなどの野生動物や、ネコ、散歩中のイヌなども吸血しています。

マダニの多くは、春から秋（3～11月）にかけて活動が活発になりますが、冬季も活動する種類もいます。